

令和6年度 4歳児 「5歳進級に向けて」(実践後)

(令和6年度実践前修正箇所を斜体、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 2月～3月

2. 設定の理由

1 学期には、好きな遊びの中で5歳児の遊びに招待してもらって、関わりをもつ中で、少しずつ互いに親しみをもち始める。また、忘れ物を届けてもらったり、困った時に、「大丈夫？」と声をかけてもらったりして、5歳児を身近に感じたり優しさを感じたりするようになる。

2 学期には、運動会で、リズム表現でブリッジや側転の技に挑戦する姿、自分達でリレーの用意をする姿、リレーで懸命に走り、バトンを繋ぐ姿、ボールや縄、フープなどいろいろな技に挑戦する姿など、5歳児の頑張りを見て、憧れや来年への期待を感じる。また、5歳児がたき火をして焼き芋を焼き、届けてくれたものを食べたり、お店屋さんごっこに招待してもらい、案内をもらって作ったものを買ったり、ケイドロをして一緒に遊んだりする中で、5歳児と過ごす楽しさや5歳児の気遣い、5歳児とのつながりをより感じるようになる。

3 学期には、5歳児が発表会に向けてグループで取り組んでいるのを見たり、発表会の前日に見せてもらったりして、馴染みのある5歳児も含めて、頑張っていることを感じたりすごいと思ったりするようになる。そして、発表会を終えて5歳児がもうすぐ幼稚園を修了すること、自分達も年長組に進級することを知ると、年長児のためにしたいこと、伝えたいこと教わりたいことを考えるようになる。

そこで、大きくなった自分たちの成長を感じたり、誇らしく思ったり、年長組になることを楽しみにしたりする気持ちをもち、修了していく5歳児のために、お祝いの気持ちをもってあげたいと思うことができるよう、5歳児との思い出を振り返り、5歳児への様々な気持ちを感じながら、その思いを言葉にして伝える機会を作ったり、修了に伴う看板や贈り物を心を込めて作る機会を作ったり、うさぎの世話の仕方を教わったりしたいと考える。

3. ねらい

- | | |
|--|---------------|
| ① 4月から年長組になることやうさぎの世話をすることを楽しみにしたり、うさぎの世話の仕方を知っておきたい、新しい年少児、年長児をお祝いしたい、こんな年長児になりたいと思ったりする。 | 自ら決める・選ぶ |
| ② もうすぐ5歳児が修了していくことや、次は自分達が年長組になることを知り、大きくなった自分を感じたり、誇らしく思ったり、嬉しく思ったりする。 | 自分に満足する |
| ③ 5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを思い出してつながりを喜んだり、5歳児に対しての感謝の気持ちを感じたりする。 | 他者という喜びを感じる |
| ④ 5歳児がうさぎの世話や焼き芋、お店やさんを頑張ってくれたことを思い出したり、発表会を見せてもらったり、一緒に遊んだりして、5歳児の頑張りが優しさを感じ、嬉しく思ったり憧れたりする。 | 他者のことを知る |
| ⑤ 修了式でお祝いや感謝の気持ちなどを伝えようと思い、伝えたいことを考えて言おうとしたり、どうすれば伝えたい気持ちが伝わるか考えてやってみたりする。 | 自分のことを伝える |
| ⑥ 5歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、送辞の言葉を心を込めて言おうとしたり、贈り物や式の看板を作ってあげたいと思ったりする。 | 他者のことを考えて行動する |
| ⑦ 送辞の言葉を、みんなで心を込めて気持ちよく伝えるにはどうすればいいのか考えたり考えたことや友達が考えたことを取り入れてやってみたりしようとする言葉を覚えて言おうとしたり、友達と息を合わせようとした | 人と物事を進める |

りする。

- ⑧ うさぎの世話について関心をもち、居心地がよくなるための世話の仕方を 生き物・命を見つめる
知らせてもらい、世話をしようとしたりする。
- ⑨ 春をイメージしたり春を感じたりしながら春の生き物や植物の飾りを作 造形に表す
ることを楽しむ。
- ⑩ 看板の文字に興味をもったり文字の特徴を感じたり必要な文字を考えたり 語彙・語句を活用する
りして、看板の文字を書くことを楽しむ

4. 展開

もうすぐ5歳児が修了し、自分達が年長組になることを知り、5歳児への憧れや大きくなった自分を感じる

A【5歳児の発表会を見せてもらう】

- ・5歳児の発表会を見ることを楽しみにする
- ・発表会を見せてもらう

5歳児を送る
ため、新しい年少児にできる
ことをする

B【贈り物を作る】

- ・ペン立ての
模様を描く

C【5歳児を送る言葉(送辞)を考える】

- ・修了式に参加することを知る
- ・5歳児との思い出を振り返ったり、気持ちを
出し合ったりする
- ・送辞の言葉をみんなで
繰り返し言う

D【修了式と入園式の看板を作る】

- ・看板を見る
- ・文字を読んだり書いたりする
- ・飾りを作る

5歳児がしてくれていた
ことを自分達がしようとする

E【うさぎやかめの世話を引き継ぐ】

- ・5歳児がしているう
さぎやかめの世
を見たり、教えても
らったりする

5歳児を送り、
大きくなった自分を感じながら
年長クラスへの期待をもつ

G【5歳児の環境を体験する】

- ・5歳児の園庭に行って遊ぶ
- ・5歳児の保育室を見せてもらう

F【修了式に参加する】

- ・送る言葉(送辞)を言う
- ・年長児のお別れの言葉を聞く
- ・~~年長児の歌を聴く~~
- ・贈り物を渡す

A【5歳児の発表会を見せてもらう】

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・発表会を見せ てもらう	○5歳児の発表会を見 て、5歳児の頑張りや	◎5歳児の頑張りや工夫を感じて、すごいと思っ たり憧れたりするように、自分達で考え決め、力を

	工夫を感じて、すごい と思ったり憧れたりす る④	合わせてきた過程を知らせたり、していることの 具体を言葉にしたり、一緒に驚いたり、子どもの 感動に共感したりする。
--	--------------------------------	---

B【贈り物を作る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・ペン立ての模 様を描く	○5歳児に喜んでもらえ るように、修了に向け てのお祝いの気持ちを もち、贈り物を作って あげたいと思う⑥	*贈り物にふさわしい明るくきれいな配色になる ように、絵具の色を選んでおく。 ◎修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、贈り物 を作ろうと思えるように、修了式に手渡す贈り物で あること、どんな気持ちで受け取ってほしいか尋 ねたり一緒に考えたりする。

C【5歳児を送る言葉（送辞）を考える】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・修了式に参加 することを 知る ・5歳児との思 い出を振り 返ったり、気 持ちを出し 合ったりす る ・送辞の言葉を みんなで繰 返し言う	○5歳児と一緒に過 ごした嬉しさや楽しさを 思い出してつながりを喜 ぶ③ ○5歳児に対しての感謝 の気持ちを感じる③ ○5歳児に喜んでもらえ るように、修了に向け てのお祝いの気持ちを もち、送辞の言葉を心 を込めて言おうとする ⑥ ○送辞の言葉を、みな で心を込めて気持ちよ く伝えるためにはどう すればいいのか考え たり考えたことや友達 が考えたことを取り入 れてやってみたりしよ うとする⑦ ○どんな年長児になり たいか考えたり頑張り たいことを決めたりす る①	◎5歳児と一緒に過 ごした嬉しさや楽しさを 思い出せるように、ど んなことを一緒にして きたかを具体的な遊び や生活、行事をあげな がら一緒に思い出したり 、嬉しかった気持ち、 楽しかった気持ちを出 し合ったりする場をも つ。 ◎感謝の気持ちを感じ られるように、5歳児 にもらって嬉しかった こと、ありがとうと言 いたいことを、どん な場面だったかを含 めて思い出す場をも ち、子どもの気持ち に共感する。 *子どもたちの、5 歳児への思いを修了 式においてみんなで 一緒に伝えられるよ うに、送辞の言葉と してまとめる。 ◎送辞の言葉をお祝 いの気持ちをもって 心を込めて言おうと 思えるように、修了 式の場合は、5歳児 に対して、みんな でおめでとうの気持 ちで送り出す場であ ることを話したり、 みんなの気持ちを 集めた言葉を伝え ることで、修了して いく5歳児がどん な気持ちになっ てほしいかを尋ね たり一緒に考え たりする。 ◎どうしたらみな で心を込めて気持 ちよく伝えられ るか考えられるよ うに、考えを出 している子どもの 言葉を聞かせたり 、考えようとして いることや言葉を 覚えたり友達と 息を合わせて言 おうとしたりす るなど必要だと思 うことをしようと していることを 具体的に言葉に して褒めたりす る。 ◎自分のなりた い姿や年長児に なったらしたいこ となどを思い浮か べられるように、 今の年長児がし てくれてたこと などを思い出 している場面で、 自分達はどん な年長児になり たいと思ってい る

	○お祝いや感謝の気持ちがどうすれば伝わるか考えてやってみようとする⑤	かや何を頑張りたいと思っているのかを尋ねたり、頑張ろうと思っていることに驚いたり応援していることを伝えたり言葉にまとめて決意を確認したりする。 ◎伝えたい気持ちが伝わるような伝え方を考えてやってみようと思えるように、姿勢や視線に意識を向ける言葉をかけたり、教師が年長児役をやってみて感じたことを言葉にしたり、考えてしていることを出し合ったり思い出させたりする。
--	---	--

D【修了式、入園式の看板を作る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・ 看板を見る ・ 文字を読んだり書いたりする ・ 絵を描く	○年長児と新しい年少児お祝いをしたいと思って入学式、修了式の看板を作ろうとする① ○看板に必要な文字を考えたり、お祝いの気持ちを込めて看板の文字を書こうとしたりする⑩ ○看板の文字に興味をもったり文字の特徴を感じたりする⑩ ○春をイメージしたり春を感じたりしながら春の生き物や植物の飾りを作ることを楽しむ。⑨	◎年長児と新しい年少児お祝いをしたいと思って看板を作りに向かえるように、入学式、修了式があることや、それぞれの式の意味や入学式や修了式に立てる看板があることを伝えたり、昨年度今の年長児が作っていた看板を見せたり今年はどうするか話す機会を作ったりする。 ◎入学式、修了式に立てるための看板に必要な文字を考えたり、お祝いの気持ちを込めて文字を書こうとしたりするように、昨年度の看板を見て、文字の意味を伝えたり、何文字含まれているか数えたり、子どもの名前と同じ文字が使われていることを言葉にしたりする。 *文字に興味をもったり書いたり書いた文字を並べてみてそれぞれの文字の特徴を感じたりするよう、何度も試せる十分な紙を用意したり手本の文字や昨年度の看板の写真を見られるように置いておいたりしておく。 *春をイメージできるよう、春の生き物や植物が載っている本を飾っておく。 ◎春をイメージしたり春を感じたりしながら飾り作りを楽しめるよう入学式や修了式が春にあることを伝えたり、春はどんな季節か尋ねたり、そのイメージに合わせて作っている飾りの工夫しているところを褒めたりする。

E【うさぎの世話を引き継ぐ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・ 5歳児がうさぎ とかめ の世話を教えてくれることを知る ・ 5歳児がしているうさぎ	○もうすぐ5歳児が修了し、自分達が年長組になることを知り、大きくなった自分を感じる② ○うさぎ やかめ の世話の仕方を知りたい、でき	◎大きくなった自分を感じられるように、もうすぐ4歳のクラスが終わることや、同時に5歳児が修了していくことを話したり、自分達が幼稚園で一番大きい組になることを話したり、教師が思う今までの子どもの頑張りを話したり、振り返ることで子どもが感じている気持ちに共感したりする。 ◎自分達でうさぎ やかめ の世話をしあげたい、うさぎ やかめ の世話ができるようになりたいと思

の世話をしたり、教えてもらったりする	るようになりたいと思う① ○うさぎやかめの世話について関心をもつ⑧ ○5歳児がしていることを見て、今までの頑張りに気付く④ ○うさぎやかめの居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、しようとする⑧ ○うさぎやかめの世話を教えてくれる5歳児の優しさを感じる④	えるように、幼稚園のうさぎについて話したり、5歳児がいつも世話をしてくれていたことを知らせたり、もうすぐ5歳児が幼稚園を修了していくこと、自分達が幼稚園で一番大きい組になることを話したりする。 ◎うさぎやかめの世話について関心をもてるように、教師自ら関心をもって見る姿を見せたり、5歳児が世話をしているところを一緒に見たり、どんなことを何のためにしているか具体的に言葉にして聞かせたりする。 ◎5歳児の今までの頑張りに気付いたり、すごいと思ったりするように、うさぎやかめの世話をしている5歳児の様子を一緒に見ながら、うさぎやかめのために必要なことを考えながらしているところや、毎日しているからうさぎやかめが元気でいられることを話したり、世話の手順をよく考えているところや手際のよさや丁寧に行っている様子を伝えたりする。 *互いのしていることが見やすく、世話の仕方について話を聞いたり尋ねたりしやすいように、5歳児、4歳児ともに、4、5人ずつのグループを作り、1グループずつ組み合わせる。 ◎世話の仕方について、4歳児が実際にやってみることで分かっていけるように、5歳児が4歳児の傍について一緒にするところを見守り、5歳児に対して、何のためにしているのかを4歳児に伝えることや、4歳児が自分でできるようにさせてあげることを促したりする。 ◎5歳児の優しさを感じられるように、4歳児を気遣いながら話しているところや、丁寧に教えてくれているところなどを言葉にする。
--------------------	---	---

F【修了式に参加する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・送る言葉（送辞）を言う ・贈り物を渡す ・年長児と一緒に退場する	○修了式に参加をして、お祝いの気持ちを伝えようと思う⑤ ○お別れ会修了式での自分達の頑張りを感じたり、年長児からの励ましてもらったりして誇らしく思う②	◎修了式で、お祝いの気持ちを伝えようと思えるように、もうすぐお別れであることを伝えたり、5歳児のために準備してきたことを振り返ったりする。 ◎お別れ会修了式で年長児に喜んでもらったり、励ましの言葉をもらったりして嬉しく思ったりするように、何度も頑張って練習してきた送る言葉を言えたことや、5歳児に贈り物を渡して喜んでもらったことなど、修了式を振り返る場をもつ。

G【5歳児の環境を体験する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・5歳児の園庭	○もうすぐ年長組になる	◎もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思える

に行って遊ぶ ・5歳児の保育室を見せてもらう	自分を感じ、嬉しく思う② ○4月から年長組になることを楽しみにする①	ように、5歳児の園庭で遊ぶ機会をもつ。 ◎4月から5歳児になることを楽しみにできるように、年長組の園庭と一緒に遊びながら、固定遊具の楽しさを共有したり、保育室にあるものを一緒に見ながら、年中組の保育室との違いを尋ねたり、園庭の梅を見て梅干し作りをすることを知らせたりして、楽しい気持ちに共感する。
---	--	--